

ごん どう

権藤よしづく

政治は実行力! 誰もが住みやすいまち立川に



2023年、酒井市長が誕生し、給食の無償化をはじめ、50ある公約の約80%に着手しています。

少しずつ立川市が、より住みやすいまちへと変わりつつあると感じています。しかし、物価高や地域交通など、まだ課題は山積みです。

皆様の声を国政・都政・市政にしっかり届けてまいりますので、お困りごとがございましたら、権藤よしづくまで遠慮なくお声がけください。



権藤よしづく
酒井大史 市長

ともに考える、これからの立川

酒井大史市長(以下酒井)
権藤君は立川(富士見町)に住んで5年になります。地域の方からどのような声を聴いていますか？



市民の声を活かす交通再編へ

権藤 私が聞くのはバス路線の本数減です。自宅近くのバス路線は土日の便はゼロになりました。

ここは町内でも地域によって状況は異なると思います。今は自転車通勤してありますが、雨の日はバスの減便で出勤時にバスがなく困りますね。地域の方の関心が高いので、私の勤める衆議院議員の大河原事務所、バス会社の関係者と勉強会も行いました。



酒井 バスを始め公共交通の問題は、現在、地域公共交通活性化協議会において議論しています。くるりんバスは立川バスに委託し、赤字補填をしています。交通不便地域解消に向けた対策を考えていく中で、運転手不足という深刻な現状も明らかになりました。来年度より、施策立案に向けて市民の声を聴くなど取組を進めていく予定です。

自然と向き合うまちの課題

権藤 富士見町は1〜5丁目と6〜7丁目では異なります。

坂下と言われる6〜7丁目では、昨今の異常気象での多摩川の水害や、今話題のアーバンベア(熊)があきる野、青梅から多摩川添いに下りてくのではと心配されています。メディアでも、1日20キロぐらいいは移動できる能力があり、立川を越えて府中・調布あたりまで行く可能性がある」と報道されました。

災害時対応と課題対応へ 共に向き合う市政を

酒井 災害発生が想定される場合、富士見町多摩川周辺の方々の避難施設は瀧ノ上会館となります。

台風やゲリラ豪雨において、50mm/hを超える雨が降る予想となった場合には早めの対応を考えています。クマの問題を含め自然環境の変化への対応も重要課題です。富士見町1〜5丁目の方々の課題は？

街灯のLED化で明るく、安全なまちづくりへ

権藤 昔から住んでいる方からは、飲食店などが随分減り、街が暗くなったとよく聞きます。でも新しいカフェなどもできたりしています。そうした個人店を支えたいですね。それと青梅線の高架化の話もよく出ます。

酒井 街路灯をLEDに取り換えて明るくなったという声もありますが、路地などの照度については歩行者と設置場所。住民の意向を合わせる課題もあります。個店を盛り立ていくことも必要です。青梅線の高架事業は現在、都とJRで検討しています。地域住民の大方の理解を得られ、市にとっても有益な事業となるよう求めていきます。

これからも地域とともに

権藤 まだまだたくさん課題がありますが、地域の皆様の声を頂き、酒井市長と連携し、地元富士見町の皆様のために活動していきます。





知ってた?
住みたい街
ランキング15位!

立川市は近年大変住みやすい街ですが、「SUUMO住みたい街ランキング2025」ではついに過去最高順位の15位※を記録しました！
2年前に酒井市長が就任してメディアでの露出も増えており、街のにぎわいや成長が加速しているように感じる方も多いのではないでしょうか？
トップが変われば、街がよくなります。
「権藤さん」には現役世代の代表として市長とともに、立川の成長を加速させ『華やぐまち立川』を目指して、地域課題をひとつひとつ解決してくれること、地域のリーダーとして活動することを期待しています。

※出典：リクルート/SUUMO住みたい街ランキング2025 首都圏版
調査対象：首都圏（東京都、神奈川県、埼玉県、千葉県、茨城県）在住の20歳～49歳の男女を対象（調査期間：2024年11月8日（金）～2024年12月6日（金））

権藤よしつぐの考える「これからのまちづくり」

※政策の一部です。さらに地域の皆さまの声を拾っていきます。

利便性の向上

地域交通の強化へ



市民の移動手段を確保するため、くるりんバス再編やデマンド交通導入について提案します。

羽田空港への直通化を視野に

羽田空港アクセス線の中央線直結や南武線の活用など、羽田空港への多摩地域からの利便性向上を提案します。

働く場と暮らす場を近くに



スタートアップ・ベンチャー企業の誘致を支援し、職住近接を進めます。

安心のある暮らし

地域の活性化と治安の向上

富士見・柴崎・錦・羽衣町エリアの商業活力支援と市民体感治安改善を提案します。

予防医学の推進

民間活力と発想力を活用し、未病・介護予防など健康づくりを推進します。

共に生きる社会へ

高齢者でも障害があってもより住みやすい立川に。



地域の魅力づくり

地産地消の推進

地産地消と飲食店（個人店）の応援・支援を拡充。



スポーツと文化を育てる

人々が集い、芸術文化とスポーツの華が広がる立川へ。



動物と共に暮らすまちへ

立川南口エリアにドッグラン設置。地域猫や動物を通じたセラピーへの取組を推進。



PROFILE



権藤よしつぐのプロフィール



- 1974年（昭和49年）3月生まれ
- 51歳
- 寅年
- O型
- 広島出身

- 学歴 青山学院大学経済学部経済学科卒業
- 主な職歴 株式会社デンソー（現デンソーソリューション）株式会社埼玉西武ライオンズ事業部マネージャー
- 政治歴 衆議院議員（整形外科医）公設秘書
参議院議員（歯科医）私設秘書
東京都議会議員（現立川市長）酒井大史 秘書
衆議院議員 大河原まさこ 公設秘書（現在）

- 趣味 プロ野球観戦、食べ歩き、温泉めぐり、サウナ、動物園めぐり（モルモット好き）

権藤よしつぐ後援会では、会員を募集しています。

会費等はありません。
ご興味のある方は、ぜひ後援会までご連絡ください。（詳細は別紙にて）

〒190-0013 立川市富士見町3-9-7-C
TEL:090-3805-0313 / メール:yg.gondo@gmail.com

▼酒井市長との対談の様子



▲大河原議員と事務所にて

